

2019年 日本表面真空学会中部支部研究会
『ナノ結晶成長・評価・応用の研究最前線』

広い面積の薄膜やバルクで完全性の高い結晶を作製しようとする研究の対極として、ナノ結晶の構造を制御し固有の性質を活かして新たな機能を実現しようとする研究も興味深い展開を見せている。このような観点より、今年の中部支部研究会ではナノ結晶を含む材料を取り上げて、作製、物性評価、応用などの側面から、最新の研究成果について4名の先生にご講演いただく。

日時：2019年11月23日(土) 午後13:10~16:50

場所：静岡大学浜松キャンパス（浜松市中区城北3-5-1）

創造科学技術大学院 2階会議室

プログラム：

13:10 - 13:15 開会あいさつ

河原 敏男（中部大学、日本表面真空学会中部支部・支部長）

13:15 - 14:05 「ユビキタス元素熱電材料実現に向けたナノ構造制御」

中村 芳明 先生（大阪大学）

14:05 - 14:55 「ZnO 結晶成長と特性評価」

安部 功二 先生（名古屋工業大学）

14:55 - 15:15 休憩

15:15 - 16:05 「GaN ナノコラムの結晶成長と光デバイス応用」

関口 寛人 先生（豊橋技術科学大学）

16:05 - 16:45 「グラッシーカーボンならびに MoS₂ ナノ結晶薄膜の形成と特性評価」

中村 篤志 先生（静岡大学）

16:45 - 16:50 閉会あいさつ

参加費：無料

申込方法：メールの表題は「日本表面真空学会中部支部研究会申し込み」としてください。

メール本文に(1)参加人数、(2)代表者氏名、(3)ご所属、(4)連絡先を記載

メール送付先：原正則（豊田工業大学）haram@toyota-ti.ac.jp

いただいた情報は、研究会への参加者の把握・連絡のみ使用いたします。

申込締切：2019年11月20日（水）（研究会は当日の参加申込みも可能です）

企画担当：静岡大・猪川 洋、池田 浩也、下村 勝、村上 健司、岩田 太

問合せ先：053-478-1308, inokawa.hiroshi@shizuoka.ac.jp